



★報告集会★

日本の民族差別・排外を正す!

2012年3月17日(土)

午後6時30分～9時15

●東成区民センター 6階 集会室601号・602号
大阪市東成区大今里西3丁目2番17号 電話：06-6972-0717

(地下鉄千日前線・今里筋線で、今里駅 2番出口を出て左100m)

●参加費（資料代）800円（高校生以下、無料）

●報告1 私たちが見てきた朝鮮民主主義人民共和国

ハンクネット・ジャパン代表世話人 竹本 昇

私たちは、1999年から食糧支援に取り組み始め、今日まで何度か朝鮮を訪れてきましたが、そこで見てきた朝鮮は、日本のマスコミが報道するものとは、ほど遠い人々の平和な姿でした。今のマスコミは、視聴率を高めるため、あることないことをセンセーショナルに取り上げ、差別と排外を煽っていますが、このような報道は正されねばなりません。私たちが見てきた朝鮮の姿を報告します。

●報告2 朝鮮民主主義人民共和国に関するマスコミのあり方を問う

USM（ウリハッキヨサポートネットメンバーズ）

共同代表 高原さつきさん

朝鮮民主主義人民共和国の金正日総書記逝去のニュースが流れて以降、共和国に関するマスコミ報道のあり方は更に悪化しています。共和国で何か起こると一番に偏見と憎悪に満ちた暴力の被害を受けるのは朝鮮学校で学ぶ子どもたちですが、今回は率先してマスコミがその旗振りをし、まず子どもたちにマイクを向けました。愛知の朝鮮学校ではどのような取材が行われたのか聞き取りを報告します。（USM—愛知の朝鮮学校支援グループから）

●報告3 朝鮮学校の高校無償化適用除外から見えてくる停滞する日本の民主主義

コリアNGOセンター事務局長 金光敏さん

民主党政権の目玉政策である「高校無償化政策」について、朝鮮高級学校が排除されている。公立高校、私立高校はもちろん、一定の要件を持つ外国人学校の高等課程にも適用されることで、在日外国人の教育権保障を一歩前進させた。しかし、拉致問題などを理由に朝鮮民主主義人民共和国を引き合いに出し、朝鮮高級学校だけが排除されている。法律や制度を政治の恣意的な判断によって容易に適用、不適用を決めることが正当化されれば、日本社会の民主主義が根底から搖るぎかねない。この問題に取り組む運動の課題についても共に考えたい。

●主催 朝鮮人道支援ネットワーク・ジャパン（ハンクネット・ジャパン）

<http://www.hanknet-japan.org/>

（お問い合わせ先 090-8860-9961 竹本）